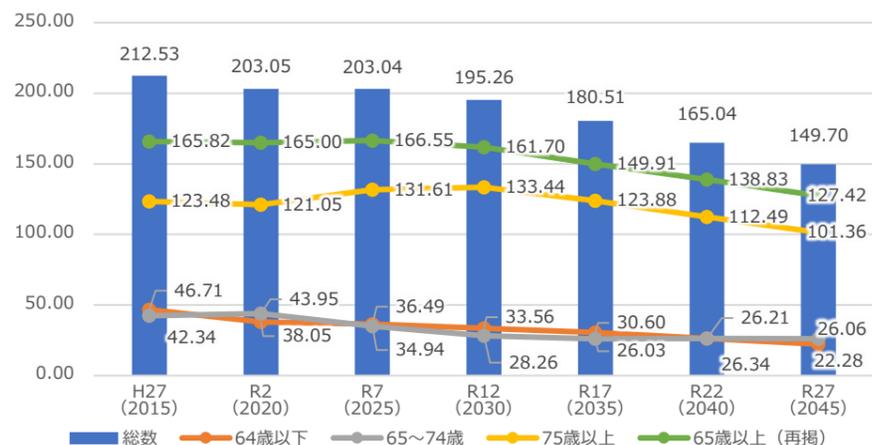


美祢市病院経営強化プラン（令和6年3月版）原案の概要 R5. 11. 29 時点

現 状

【一般病床医療需要（年齢階層別・1日当たり入院患者数）】 単位：人



【対象市民全体の入院患者数と市立2病院入院率】 **新** レセプト枚数ベース

区 分	対象市民全体の入院患者数		市立2病院への入院患者数		市立2病院への入院率	
	国 保	後 期	国 保	後 期	国 保	後 期
1 80%以上急性期病床を持つ病院	857	1,099				
2 急性期の他、回復期又は慢性期の病床を持つ病院（急性期かつ150床以下を含む）	1,413	3,125	880	2,365	57.2%	68.6%
3 回復期及び慢性期を持つ病院	124	322			65.1%	
4 慢性期病床のみを持つ病院	34	67				
5 その他の有床診療所等	57	80				
合 計	2,485	4,693	880	2,365	35.4%	50.4%
	7,178		3,245		45.2%	

※国保：国民健康保険 後期：後期高齢者医療制度

【基本機能（2023年11月1日現在）】

	美祢市立病院	美祢市立美東病院
病床の種類・数	126床 一般病床 81床 （うち地域包括ケア病床 30床） 療養病床 45床	100床 一般病床 60床 （うち地域包括ケア病床 16床） 療養病床 40床
医師数	12.0人（常勤医師8人・非常勤医師0.8人・大学非常勤医師3.2人）	8.8人（常勤医師6人・大学非常勤医師2.8人）
看護配置	一般病床 10：1 療養病床 20：1	一般病床 10：1 療養病床 20：1
救急関係	救急告示 病院群輪番制	救急告示

現れている問題点

- ①地域に密着した病院として十分に利活用されていない。
- ②医師及び看護師が十分に確保できていない。
- ③施設・設備が老朽化している。
- ④市立病院の経営に必要な内部留保資金が不足している。

市立2病院の役割

○公立病院として

- ・山間へき地・離島など民間医療機関の立地が困難な過疎地等における一般医療/救急などの不採算医療の提供
- ・他に一般病院がない以上、急性期・回復期・慢性期医療の提供、在宅医療の支援等多様な機能を担う。
- ・へき地で医療を担う医師は、専門医かつ総合診療医として日常的に発生する疾病ほとんど全ての診療にあたる。

○地域医療構想を踏まえて

- ・県全域：回復期病床不足/他の機能病床過剰
- ・市立2病院は75歳以上の入院患者の割合が極めて高いことから、10対1病床（急性期）から地域包括ケア病床（回復期）への転換により対応。

○地域包括ケアシステムの構築に向けて **新**

- ・美祢市においては、住み慣れた地域（＝日常生活地域）を、美祢地域と美東・秋芳地域の二つに分けて設定。
- ・現在、地域包括ケアシステムは、各地域ごとの実情に応じた「ネットワーク（連携）」と理解されている。
- ・美祢市においては、右欄「診療所や介護施設を支援する地域密着型多機能病院を拠点としたネットワーク化」の実践が、地域包括ケアシステムの構築そのもの。

○新興感染症の感染拡大時に備えて **新**

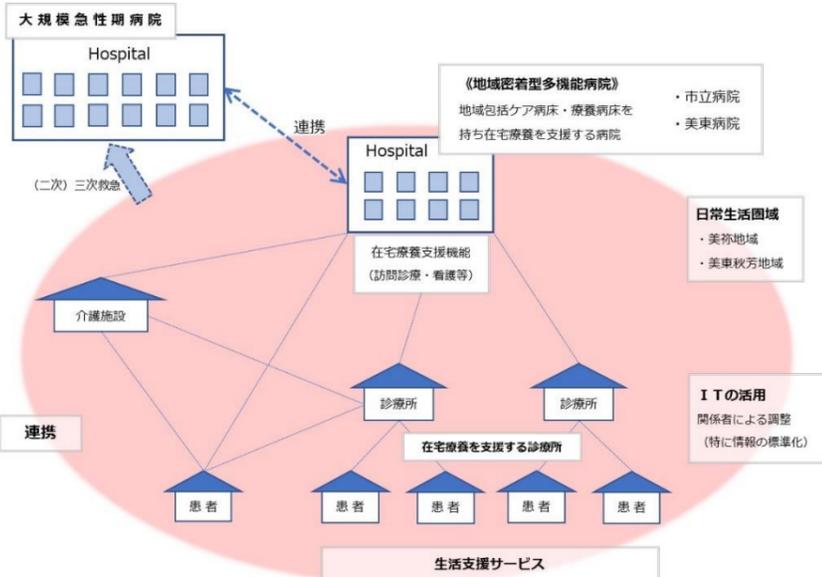
- ・病棟内でのゾーニングや発熱外来設置等、地域内での新興感染症の感染拡大時に対応できる体制を維持。
- ・組織横断的な感染対策部門、感染防止を専門とする感染制御チームの組織化等を引き続き実施。
- ・計画的な感染管理認定看護師の育成。

○予防に向けて **新**

- ・市健康増進課・市民課等と連携して、健診センターとしての機能を拡充。
- ・市立2病院は、みね健幸百寿プロジェクトの基礎資料となるデータ収集の中心施設。
→ 個人毎に得られた疾病予測を踏まえた助言等を行うことが可能。データ分析から得られた知見を市関係部署と共有し、積極的な施策提言を実施。

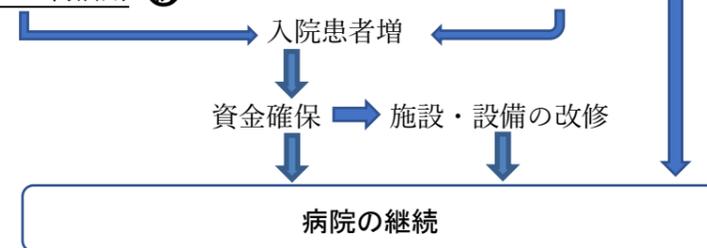
医療機関・介護施設との連携の強化

【診療所や介護施設を支援する病院を拠点としたネットワーク化】 **新**



課題の整理と解決策の実施

- 市立2病院の地域密着型多機能病院としての利活用 **新**
- 医師・看護師の確保



市立2病院が役割を果たし続けるための条件 **新**

- (1) 供給面からみた条件
 - ①全体イメージ 上記ネットワーク化図
 - ②市立2病院間の関係
 - ・市立2病院は急性期病院と慢性期病院に分化することなく、それぞれが総合診療（プライマリ・ケア）を担う病院として併存する。
 - ③市立2病院の多機能性の源の確保
 - ・総合診療の力に秀でた医師とともにチーム医療を展開することのできる医療従事者の確保とその研修が医療提供の基本。
- (2) 需要面からみた条件
 - 市民の皆さんに可能な限り市立2病院を「地域密着型多機能病院」として利活用していただくことに尽きる。
- (3) 収益面からみた条件
 - 単年度資金収支を黒字化するため、R10(2028)年度に向け市立病院では1日当たり104～114人、美東病院では84～91人の入院患者。